

# 『第2回 家庭教育学級』風景

令和4年7月15日

7月1日の学級PTA後に第二回家庭教育学級が行われました。「これからの学力の捉え方」という演題で重丸功志郎教頭が講師を務め、子供たちがこれから身に付けなければならない力について一緒に考えていきました。

「愛とはなんぞや」という問いで始まり、「目に見える学力と目に見えない学力」について、これから子供たちが生きていく社会（Society 5.0）の動画視聴や、タブレットを使っての学習の体験、意見交流など行いました。

## 【家庭教育学級】風景



### 【感想】

- いっぱい褒める。一緒に過ごしてたくさん話そうと思いました。
- お話とても聞きやすく面白かったです。話を聞くこと授業をうけること大事だなと思える楽しい時間でした。
- 実際にタブレットを使ってみて子どもたちの経験がわかりました。これからの時代を生きる力を付けてあげたいです。
- 求められる力や見える学力など…が時代の流れと共に実に必要不可欠なものとなって来るのだなと実感しました。